

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年10月 28日

事業所名 望あゆみ野大古曾

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員に対し、スペースを広く取っている	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所の設備はバリアフリーになっている	本人にわかりやすく構造化された環境整備に取り組むだけでなく、今後は本人の情報伝達等を促進していく取り組みも併せて行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		開所1年未満であり、PDまではできているがCAの部分は今後改善していく	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向を聞き取っている	積極的に保護者の意向を把握し、業務改善につなげる
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所後1年未満であり、今回初めて公表する	会報やホームページで積極的に公表していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を受けていない	評価結果を業務改善につなげていく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			積極的に研修の機会を提供する
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			より高度な活動プログラムを提案できるようチーム力の向上を目指す
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		開所後1年未満であり、プログラムの固定化まで至っていない	幅広い活動プログラムを実施できるように工夫する
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動が中心。今後、集団活動も検討していきたい	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成する
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急時以外は、翌日に申し送りをしている	送迎前の時間に振り返りを設ける
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		システムを導入し、どのデバイスからも入力できる	適切な支援の検証・改善につながつよう、効率的に記録する
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には看護師が出席している	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			積極的に各関係機関と連携した支援を行う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係者と連携を図っている	積極的に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行う
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		子どもの主治医や協力医療機関等との連携体制を整えている	積極的に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行う
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有と相互理解を図っている	積極的に情報共有と相互理解を図る
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有と相互理解を図っている	積極的に情報共有と相互理解を図る
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修を受けている	積極的に助言や研修を受ける
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	感染症対策を行い交流の機会を設ける
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		(自立支援)協議会には参加していないが、元々、地域の子ども・子育て会議等へは、積極的に参加している	自律支援協議会に参加する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		本人支援のためのプログラムの支援は行っているが、家族支援プログラムの支援はまだ実施していない	家族支援プログラムのに今後取り組む予定
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談されれば必要な助言と支援を行っている	積極的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談をされるような機会を提供する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母を対象とした茶話会を予定していたが、コロナで中止になった	各種当事者支援グループに参加したが、保護者同士の連携支援までは至っていない。感染症対策を行い今後は茶話会等を開催する予定
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった場合は迅速かつ適切に対応している	相談しやすい体制をつくり、相談や申し入れしやすいように積極的に保護者に働きかけていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報等の発行は、していないが、活動概要や行事予定、連絡体制等はその都度、保護者に文章や口頭で知らせている	定期的に会報等を発行する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮はしているが、障がいのある子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をどのようにしていくか模索中	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をする
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図る

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の対応はしていない。	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づいて食事の対応をする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	厚労省のヒヤリハット事例集はダウンロードしたが、開所1年未満であり、当事業所独自の事例集までは作成できていない	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をする
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束について組織的に決定しているが、保護者に十分に説明を受け、児童発達支援計画には盛り込んでいない	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年10月28日

事業所名 望あゆみ野大古曾 保護者等数(児童数)1 回収数 1 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	○					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	○					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○	友達が欲しい。交流させたい	感染症対策を行いながら、他の児童との交流の機会を設けていく
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					
保護者 への 説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	○					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか				○	機会があれば参加したい	感染症対策を行いながら、保護者への家族支援プログラムを実施していく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				○	父母対象の茶話会が予定されていたがコロナで中止になった	感染症対策を行いながら、他の保護者との交流の機会を設けていく
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○					

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	○					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	○					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				○		必要な避難訓練を実施していく
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	○					
	23	事業所の支援に満足しているか	○					

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年10月28日

事業所名 望あゆみ野大古曾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者のスペースを広く取っている	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーな環境である	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	開所1年未満であり、業務改善までは至っていない	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表だけでなく、様々な機会を通じて保護者の意向は常に把握するおうに心がける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所後1年未満であり、今回初めて公表する。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を受けていない	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修会だけでなく様々な学びの機会を提供する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			より適切な放課後等デイサービス計画を作成する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員で立案できるようにチーム力の向上を目指す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		開所後1年未満であり、プログラムの固定化まで至っていない	活動プログラムが固定化しないよう工夫する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況に応じて個別活動が中心	集団活動を取り入れられないか検討していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急時以外は、翌日に申し送りをしている	当日送迎前にスタッフで振り返る時間を設ける
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		システムを導入し、複数のデバイスから必要な時に記録することができる	ICT化を進め、さらに業務改善を進める
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断する
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		求めに応じて会議等に看護師を出席させている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校と常に連絡を取っている	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医と連絡体制を整え、定期的に報告している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		各関係機関と情報共有している	情報共有と相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		各関係機関と情報共有している	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修を受けている	積極的に助言や研修を受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	感染防止対策を行い、放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を設ける
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		(自立支援)協議会には参加していないが、地域の子育て支援協議会等へは、積極的に参加している	(地域自立支援)協議会等へ参加する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つ
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		新しい療育機器などが入った時は保護者の見学会等は設けているが、ペアレント・トレーニング等の支援はまだ行っていない	保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行う
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談されたら必要な助言と支援を行っている	積極的に事業所側から助言や支援の提案を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会の活動には参加したが、保護者同士の連携支援までは至っていない	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応する
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報等の発行は、していないが、活動概要や行事予定、連絡体制等は保護者に知らせている	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信する
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障がいのある子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をどのようにしていくか模索中	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をする
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、関係者のみとし、地域住民を招待する等の活動は実施なし	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図る

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定したが、保護者に周知はしていない	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	児童発達支援計画に盛り込んでいない	身体拘束について、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	現在はまだ食事の対応はしていない	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき食事の対応をする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	開所1年未満であり、当事業所独自の事例集までは作成できていない	独自のヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有する

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年10月28日

事業所名 望あゆみ野大古曾 保護者等数(児童数) 4 回収数 2 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	○					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	○					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		別の拠点には放課後児童クラブがあると聞いた	感染症対策を行い交流する機会を設ける
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○			父母対象の茶話会が予定されていたが、コロナで中止になった	感染症対策を行い交流する機会を設ける
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○					
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	○					
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○					
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	○					
	18 事業所の支援に満足しているか	○					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。